
赤潮注意報（ヘテロシグマ アカシオ）

鹿児島県水産技術開発センター
 平成25年2月19日

鹿児島湾No.1

[1] 2月19日の調査結果

本日、鹿児島湾を調査したところ、ラフィド藻類のヘテロシグマ アカシオを0m層で最高830cells/ml確認しました。湾奥部の竜ヶ水沖から隼人沖にかけて細胞数が多い傾向にありました。また、湾奥中央0m層でディクチオカ藻類のシュドシャトネラ バルキュローサを1cell/ml確認しました。なお、珪藻類は全体的にほとんどなく、微細藻類が多い状況でした。

[2] 今後の赤潮発生の予想

本種は、日中は表層に集積し、夜間は全層に拡散する傾向があります。現在の水温は平年より低めですが、今後の環境の変化や風向きによっては、有害種が増殖、蟻集することも考えられますので、今後とも漁場周辺の採水・検鏡を行い、漁場環境の把握に努めるとともに、状況に応じ、餌止めの実施等、十分な注意が必要です。

